



ZedTrauma

CT撮像、再構成条件

患部

管電圧

標準管電圧(120kVp目安)

データ形式

DICOM形式

スライス画像

Axial方向のスライス画像で同シリーズ

スライス

2 mm以下を推奨
※オーバーラップなし

再構成スライス間隔

2 mmまたはそれ以下を推奨
※2mmで再構成不可の場合はそれに近い間隔で再構成

スライス枚数

1000枚以下

Gantry Tilt

0度

データ保存 (CDまたはDVDの場合)

- Axial画像のみDICOM形式で保存
- 1 ディスクに 1 シリーズのみ同じフォルダにまとめて保存
- 専用Viewerやスカウト不要
- Coronal,Sagittal画像は不要

再構成条件

軟部条件推奨

画像解像度

512×512

FOV

- 骨盤、大腿骨近位
骨盤全体が入る値で設定
- 大腿骨遠位、脛骨近位の場合
患側骨全体が入る値で設定
- 橈骨遠位の場合
対象が入る範囲で設定

撮影範囲

- 骨盤、大腿骨近位
骨盤 (左右上前腸骨棘を含む)
～大腿骨遠位関節面まで
- 大腿骨遠位、脛骨近位の場合
大腿骨頭～足関節面まで
- 橈骨遠位の場合
対象が入る範囲

